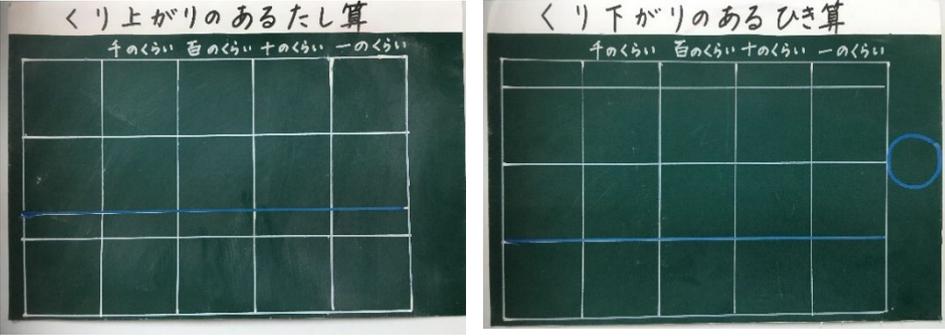


桁数が大きな計算において繰り上がりや繰り上がりの処理を忘れずに行うための教材の工夫

「計算らくらくミニ黒板」

子どもについて	所属・学年	小学校・通級指導教室（LD）・3学年
	障がい名等	学習障がい
	子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等)	「計算すること」に課題がある。 かけ算九九や一桁どうしの加減算はできるが、桁数が大きくなると繰り上がりや繰り下がりの処理を忘れてしまう。繰り上がりや繰り下がりの処理を忘れずにできるようにする指導・支援が必要である。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	自立活動
	単元(題材)名	計算の力をアップさせよう
	単元(題材)の概要	繰り上がりや繰り下がりのある計算において、繰り上がりや繰り下がりを忘れずに計算することができる。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 ・支援機器	<p>「計算らくらくミニ黒板」</p> 
	ねらい・工夫点	<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 繰り上がりが繰り下がりの処理を忘れずに行うことができるように補助線や○を予め書いたミニ黒板を作成した。</li> </ul> <p>&lt;工夫点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のノートやプリントの問題を解く際も同様の処理をはじめに行うことで繰り上がりや繰り下がりの処理を忘れずに行うことができるようにした。</li> <li>○ 処理に慣れるまでは、15マス程度のノートを使用するようにし、確実に計算ができるようにした。テストの際には、計算補助シートを使用しても良いことを本人・保護者、周囲の児童とも確認し、合理的配慮として実施した。</li> </ul>
	材料・作成方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小黒板にポスターカラー等のマーカーで補助線等を記入した。</li> </ul>
子どもの変容や評価	<p>時間がかかっても自分の力で正解することができるようになり、計算に対する拒否感が軽減した。また、正解することが多くなり、学習にも意欲的に取り組むことができるようになった。</p>	